

地域福祉計画策定に関する 中・高校生の参画 について

1. 趣旨

加速度的に進む人口減少社会において、特に地方都市においては消費の低迷、成長の衰弱、経済規模の縮小をはじめとする生活水準の低下が大きく危惧されています。

言うまでもなく人口減少がもたらす影響は、福祉制度の根幹をも揺らがす大きな課題であり、未来の唐津を支える中学生や高校生の意見を本市の地域福祉計画に取り入れることで、包摂的な社会の実現に向けた一歩とするものです。

2. 参加予定者

(1) 市内在住の中学生 3 名、高校生 3 名 計 6 名程度

(2) 唐津市長

(3) 地域福祉計画策定委員 2 名

3. 方法

(1) 対談方式

聞き手役（市長、地域福祉計画策定委員）

ファシリテーター役（福祉総務課）

(2) テーマ「(基本理念) 」

基本理念をベースに、テーマを 3 つ程度選定予定

4. 意見の反映方法

(1) 地域福祉計画の巻頭ページに、対談内容をまとめた見開き 2 ページの特集記事とする。

(2) 中高校生の意見のうち、各計画の項目に沿った内容があれば、当該ページにコメントとして記載することを検討する。